

第6学年 国語科学習指導案

日時 平成20年11月26日(水) 5校時

児童 男7名 女16名 計23名

指導者 小山 哲朗

1. 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

2. 教材名 「平和のとりでを築く」
「自分の考えを発信しよう」(光村図書6年下)

3. 単元について

(1) 児童について

	単元名・教材名	目指した力
第5学年上	要旨をとらえよう ⓐ「サクラソウとトラマルハナバチ」	・文章構成から要旨をとらえて読むことを知ること ・筆者の考えに興味をもち、自分の考えをもつこと
第5学年下	目的に応じて考え方を伝えよう ⓐ「ニュース番組作りの現場から」 ⓑ「工夫して発信しよう」	・文章構成から要旨をとらえて読むこと
第6学年上	共に考えるために伝えよう ⓐ「生き物はつながりの中に」	・文章構成や表現から要旨をとらえて読むこと ・筆者の考えについて、自分のなりの考えをもつこと

以上の活動を通して、児童は、文章構成や表現から要旨をとらえて読んだり、筆者の考えに対して自分なりの考えをもったりする力が徐々に身に付いてきている。

しかしながら、全体的に見ると、叙述に即して正しく読み取れる力や言葉の意味を正しく理解する力は不十分である。また、自分の考えを文章化する際に、適切な言葉がなかなか見つからずに書き出せない児童や念頭において自分が書きたいことをなかなか構築できない児童がいる。

(2) 教材について

第5学年及び第6学年の「読むこと」における目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる」ことである。また、「書くこと」における目標は、「目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる」である。

本単元は、「平和のとりでを築く」と「自分の考えを発信しよう」から構成されている。「平和」に関する説明文教材を事実と意見を区別しながら読み、筆者の考えをとらえ、それについて自分の考えをもつこと、必要な材料を集めて文章にまとめること、それを発信することが主な学習内容となっている。

「平和のとりでを築く」は、＜原爆ドームに対する筆者の思い＞＜原爆ドームがたどった歴史＞＜世界遺産への道のり＞＜筆者の伝えたい思い＞という分かりやすい文章構成になっており、筆者の考えをとらえやすくなっている。筆者の考えを丁寧に読み取ることによって、それに対する自分の考えをもつことができる教材である。

「自分の考えを発信しよう」は、「平和」というテーマにかかわる多様な材料を集め、自分なりの考えをもち、発信していく学習が出来る教材である。

このように、筆者の主張を受けて自分なりの考えをもちながら読み、自分の意見が伝わるように組み立てを考えながら書く学習に適した教材であるといえる。

(3) 指導にあたって

本単元は、「発信」に重点を置いた情報活用単元の総仕上げに位置づけられているといえる。筆者の考えを正しく読み取りながら、「平和」について児童一人一人が深く考え、自分なりの考えを持てるようにしていきたい。

「平和のとりでを築く」では、第1時に要旨の予想と学習したいことを初発の感想に書かせ、それをもとに学習課題や学習計画を立てたり、筆者の考えを読み取ったりしていきたい。筆者の考えを読み取る際には、重要語句や文末表現に注目しながら、事実と意見を区別し、筆者の考えを丁寧に読み取っていききたい。また、読み取った内容について自分の意見を書く活動も取り入れ、読み取った内容を深めることができるようにしていきたい。

「自分の考えを発信しよう」では、それまでに書いてきた自分の考えや友達との交流の中で気づいたことをまとめ、「平和」についての自分の考えを書いていく。過去の事実や他国の現状の理解にとどまることなく、「自分たちの未来」について考えが広まっていくように支援したい。また、さりげない日常の「平和」についても気付いていけるようにしたい。

4. 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	○筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとする。	・筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもつために、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。
読む能力	◎書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことができる。(読エ)	・書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読んでいる。
書く能力	◎自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組み立てを考えることができる。(書ウ) ◎事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。(書エ)	・テーマに沿って、集めた情報の中から必要なものを選択し、自分の考えに取り入れて、自分の考えが読み手に伝わるように組み立てを考えている。 ・自分の考えを伝えるために、具体的な事例と意見を分かりやすく書き分けている。
言語についての 知識・理解・技能	○文章全体のおおまかな構成と、部分の役割を理解することができる。(言オ【ア】)	・自分の意見を明確に表現するために、さまざまな組み立てがあることを理解している。

5. 単元の指導計画と評価規準 (全14時間 本時5時間/14時間)

段階	学習内容	具体の評価規準		
	「平和のとりでを築く」	国語への 関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
第一次	1. 単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。 ・単元名、リード文、題名から学習の見通しをもつ。 ・全文を読み初発の感想を書く。 ・語句と漢字の練習をする。	題名に着目し平和について考えながら、筆者が投げかけている問題についてとらえようとしている。 (発言・態度)	全文を読み、筆者が投げかけている問題の大体についてとらえている。 (発言・ノート)	新出漢字の読みや語句の意味について理解している。 (ノート)
第二次	2. 文章の概略をつかむ。 ・キーワードや文末表現から段落の構成をとらえる。 ・初発の感想を交流し、学習計画を立てる。	段落の構成をとらえたり、話題提示文を見つけたりして、読みの視点を確認しようとしている。(発言・態度)	段落の構成をとらえたり、話題提示文を見つけたりして、読みの視点を理解している。 (発言・ノート)	論理的な文章の構成について理解し、段落の役割をとらえている。 (ノート)
	3. 教材文を読み、叙述の内容を的確に押さえながら読み取る。 ・「原爆ドーム」がたどった歴史について読み取る。 ・「原爆ドーム」がたどった歴史を読み取って、自分なりの考えをもつ。	叙述の内容について事実関係を押さえながら、「原爆ドーム」がたどった歴史を読み取ろうとしている。 (発言・態度)	「原爆ドーム」がたどった歴史を、時を表す言葉をもとに読み取り、年表にまとめている。 (発言・ノート)	文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。 (発言・ノート)
	4. 教材文を読み、叙述の内容を的確に押さえながら読み取る。 ・「原爆ドーム」が世界遺産に認められたときの筆者の思いについて読み取る。 ・言葉や文末表現に着目し、事実と意見を区別する。	「原爆ドーム」が世界遺産に認められたときの筆者の思いを読み取ろうとしている。 (発言・態度)	「原爆ドーム」が世界遺産に認められた経緯を、筆者の思いと区別しながら読み取っている。 (発言・ノート)	文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。(発言・ノート)
	5. 筆者の伝えたいことを読み取る。 ・筆者の伝えたい事を読み取り、自分の考えをもつ。 (本時)	筆者の考えを読み取り、それに対する自分の考えをもつようとしている。 (発言・態度)	筆者の考えを読み取り、それに対して視点に沿って自分の考えをもち書きまとめている。 (発言・ノート)	筆者の考えを表現している言葉に気付いている。 (発言・ノート)
第三次	6. 筆者の考えに対する平和についての自分の考えを深める。 ・グループ交流を行い、自分の考えを深める。	筆者の考えに対する平和についての自分の考えを、友達と話し合うことで深めようとしている。 (発言・態度)	筆者の考えに対する平和についての自分の考えを、友達と話し合うことで深めている。 (発言・ノート)	筆者の考えを表現している言葉に気付いている。 (発言・ノート)
	「自分の考えを発信しよう」	国語への 関心・意欲・態度	書くこと	言語事項

第一次	7. 教材文を読み、学習の見直しをもつ。 ・教材文を読み、学習内容や方法を知る。 ・題名の意味を考え、今の社会問題について考える。	今の社会が抱えている問題点について考え、学習の見直しをもとうとしている。 (発言・態度)	自分のテーマを決めている。 (発言・ノート)	新出漢字の読みや語句の意味について理解している。 (ノート)
第二次	8. インターネットを活用した学習について学び、学習計画を立てる。 ・伝える方法や調べ方を知る。	自分のテーマについていろいろな方法で情報を進んで調べようとしている。 (態度)	何を、だれに、どんな方法で伝えるのか、自分の意図に沿って適切に選択している。 (発言・ノート)	インターネットを活用するための情報モラルやルール、方法などを理解している。 (発言)
	9. 自分の伝えたいテーマについて情報を収集する。 ・仮の要旨を決める。 ・自分のテーマについて必要な資料を集める。	自分のテーマについていろいろな方法で必要な情報を進んで調べようとしている。 (態度・ノート)	自分のテーマについていろいろな方法で必要な情報を調べ、調べたことを必要に応じてメモしている。 (ノート)	言葉の意味を辞典で調べたり、わかりやすい言葉に置き換えたりしている。 (ノート)
第三次	10. 集めた材料をもとに、「仮の要旨」を「確定した要旨」にまとめ直す。 ・収集した情報を整理する。 ・要旨を確定する。	収集した情報をもとに、自分のテーマについての要旨を進んで確定しようとしている。 (観察・ノート)	自分のテーマに沿って収集した情報を整理し、要旨を確定している。 (ノート)	メモを活用して書く事柄を整理している。 (ノート)
	11. 意見文の構成を考える。 ・自分の考えを展開する上で、必要な資料をもとに、意見文の構成を考える。	資料をもとに、組み立てを工夫することで、自分の考えが明確に伝わる構成を考えようとしている。 (態度・ノート)	自分の考えを明確に伝えるために資料をもとに、組み立てを工夫して構成表を作っている。 (ノート)	文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。 (発言・ノート)
	12. 意見文を書く。 ・構成表をもとに、事実と意見を区別した意見文を書く。	構成表をもとにして、自分の考えが伝わりやすい文章を進んで書こうとしている。 (態度)	事実と意見・考えを区別して、自分の考えが伝わりやすい文章を書いている。 (意見文)	自分の考えを明確に表現するために必要な構成を考え文章に用いている。 (意見文)
	13. 意見文を推敲する。 ・書き上げた意見文の見直しをして清書する。	推敲表に沿って、進んで書き上げた意見文の見直しをしようとしている。 (態度)	自分の考えを伝えるために、効果的な表現になっているかを見直している。 (意見文)	文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。 (発言・ノート)
第四次	14. 意見交流会を行う。 ・意見交流会を行い、意見や感想を交流して自分の考えを深める。	進んで自分の考えを述べたり、友達の意見文への感想を発表したりすることで、平和についての考えをより深めようとしている。 (態度)	友達の意見文を聞き、観点に沿って感想やアドバイスを述べ、平和についての考えを深め発信している。 (発言・ノート)	表現したり理解したりするために、必要な語句を増やしている。 (発言・ノート)

6. 本時の指導

(1) 目標

筆者の伝えたいことについて読み取り、自分の考えをもつことができる。

(2) 本時の視点 (提案したいこと)

①系統性を考えたねらい

→既習内容を生かし、文章構成や表現から要旨を読み取り、それに対する自分の考えを持つ。

②書く力や考える力と読む力を関連させた授業内容

→要旨を読み取り、それに対する自分の考えを書きまとめる。

③学習形態の工夫

→一人学びで考えたことをグループでの交流、全体での交流の中で深めていく。

(3) 本時の展開

段階	学 習 内 容	指導上の留意点・支援 (☆)	評価 (□) 付けたい力 (◎)
つかむ 五分	1. 時の学習を想 する。 2. 学習課題を確認する。 筆者の伝えたいことは何か考え、それに対する自分の考えをもとう。	☆ 時に確認した筆者が読者に伝えている を りる。	□ 時の学習を想 できたか。 (発言・観察) □学習課題を把握できたか。 (観察)
ふかめる 三十五分	3. 学習 を 読する。 4. 学習課題を解決する。 (1) 筆者の伝えたいことを読み取る。 ・⑬段落に筆者の強い思いがあることを確認する。 【一 学習】 ・「平和のとりでを築く」とはどういうことか考え、筆者の伝えたいことを読み取る。 【一人学び】 【グループ学習】 【一 学習】 (2) 筆者の伝えたいことに対して自分の考えをもつ。 【一人学び】 【 ア学習】	☆筆者の伝えたいことは何か考えさせながら 読させる。 (一 読) ☆自分の考えの となる部分を発表する。 ☆「平和のとりで」とは筆者の言葉ではなく、ユネスコ憲章からの言葉であることを確認する。 ☆考えたことをグループで交流しあう。 ☆ どもたちから出てきた言葉を いながら、まとめる。 <例> ・ を こさないという強い気持ちを持つことが大切だ。 ・平和を るという強い気持ちを持つことが大切だ。 ☆筆者の考えにふれながら、自分の考えをまとめるように指示をする。 ☆あらかじめ、文章の形を指示する。 ☆ の人と交流をした に、人に発表してもらおう。	◎学習課題を意識しながら 読める力。 ◎文末表現やキーワードに着目しながら読み取ることができる力。 ◎話し合いから自分の考えを深めることができる力。 □筆者が伝えたいことを適切に読み取ることができたか。 (発言・ノート) ◎筆者の考えにふれながら、自分の考えをまとめる力。 □筆者が伝えたいことについて自分の考えを書くことができたか。 (ノート)

まとめ 五分	5. 本時の学習を振り返る。 ・観点をもとに自己評価する。 6. 次時の学習内容を知る。	☆「筆者の伝えたいことが分かったか」「自分の考えを書くことができたか」について自己評価させる。 ☆次時は、それぞれの考えを交流しあうことを知らせる。	□学習課題について振り返ることができたか。 (ノート)
-----------	--	---	------------------------------------

(4) 具体の評価規準

観点	十分	概ね	への支援
国語への 関心・意欲・態度	筆者の考えを読み取り、自分なりの考えをもち、進んで書いたり、話し合ったりしようとしている。	筆者の考えを読み取り、自分なりの考えをもち、書いたり、話し合ったりしようとしている。	グループでの話し合いの中から、共感できる意見を見つけさせる。
読むこと	筆者の考えを理解し、筆者の考えに対して、 を持ちながら、自分の考えを書いている。	筆者の考えを理解し、筆者の考えに対して自分なりの考えを書いている。	筆者の考えを提示し、成否対か考えるように言する。

7. 書計画

	<p>平和のとりでを築く</p> <p style="text-align: right;">大牟田 稔</p>	<p>課題</p> <p>筆者の伝えたいことは何か考え、それに対する自分の考えをもとう。</p>	<p>⑫段落 (原爆ドームは) 世界の人々に警告する記念碑なのである。</p> <p style="text-align: right;">ユネスコ憲章からの引用</p> <p>筆者の伝えたいこと↓どういう意味?</p>	<p>⑬段落 原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための 筆者の強い訴え 世界の遺産なのだ。</p>	<p>「平和のとりでを築く」とは、 ↓ということである。</p>	<p>・児童の考え</p>	<p>・全体のまとめ</p>	<p>自分の考え</p> <p>「わたしは、筆者の↓という考えに同感です。(疑問を持ちました)。理由は、↓だからです。」</p>
--	--	--	--	---	--------------------------------------	---------------	----------------	--

